



3学期が始まり、元気いっぱいに登園してきた子どもたちを見て、楽しいお休みを過ごしたのだらうなと感じました。背が高くなっていたり、髪の毛を切っていたりと、冬休みに入る前よりも雰囲気がお兄さんお姉さんになっていた子どもたちに、びっくりもさせられました。今回は、お正月遊びを楽しんでいる様子や、お餅つきや豆まきを体験した様子などをお伝えしたいと思います。

花組は今日も楽しく大いそがし！（花組）

3学期、登園してくる子どもたちの表情は、もうすでに今日の遊びのことに思いを巡らせています。シールを貼りながら「ねえ、あとで〇〇して遊ばない？」と友達と約束を交わす子ども。鞆をロッカーに入れた途端、小走りにこちらへやってきて「先生、今日△△屋さんしたい！」とリクエストする子ども。仲良しさんがやって来るのを待ちながら、お気に入りの曲で踊る子ども。それぞれに幼稚園で遊びたいことを、しっかり考えたり見つけたりできるようになったのだなと、その成長ぶりを嬉しく思います。

さて、朝の支度を終えると注文がどンドン入ります。「先生、ここくっつけて」「先生、こんなのが欲しいの」「先生、私もいる！」次々やって来るご要望になるべく早く応えたいのですが、残念ながら身は一つ、手は二つ。「もうずっと待ってる～」「今して、今！」フル回転で応えようと頑張る保育者の努力もむなしく、なかなかスピーディーにはいきません。「ごめんね、すぐお手伝いするよ」「うん、今行くよ」そう答えているうちに、気が付くと、もうみんな自分たちで作ったり、出かけたり、友達と遊んだりしています。大人が物事をこなす忙しさなどは比べものにならないくらいに、子どもたちの方が遊びたいことで忙しいのです。そして一度遊び始めると、友達と一緒に過ごすことが楽しくて、保育者を呼ぶのは用事があるときだけということもあります。さらに、遊びの盛り上がりには比例して、使う道具や、おもちゃの数も盛りだくさん。一つしまつて次の遊びに…という間も惜しいらしく、だいたいいつも10時半頃には、保育室も園庭も、思わず「キャー……！！」と声をあげたくなるような状態に…。

そんなある日、片づけの時間にお手伝いに来てくれた万紀子先生が、いつものごとく「キャー！」な状態のお部屋を見て、ニッコリやさしい声で一言☆「まあ～、よ～く遊んだのねえ！」と。そうなんです、みんな、よく遊んだのです！キャーなお部屋は、その立派な証なのだ気づかされました。

附属幼稚園のよい子のしるしは「よく遊ぶ子ども」。片づける間も惜しい

くらいに遊べるようになった子どもたちは、とっても素晴らしいですね。これから先、必ず、お片づけも、部屋に戻ってくるのもだんだん上手になります。その前に、今、自分がやってみたいこと、一緒に遊びたい人、行きたい場所、それらを見つけられることがとても大事で、それができるようになった花組さんは、すっかり「もうすぐ風組の花組さん」になっているのだと思いました。そうそう、花組さんの名誉のために付け加えておきますが、毎日最終的には皆、お片づけもお掃除もちゃーんと頑張ってきています。

花組として幼稚園で遊ぶ日も、残り少なくなってきました。さあ、明日も、楽しさおもしろさうれしさで忙しく、元気に遊びましょう！（植村）

楽しみにしていた3学期♪（風組）



3学期が始まり、保育室の中にもカルタやすごろく、トランプ、あやとり、こまなどのお正月あそびが登場しました。子どもたちは、「おにいちゃんとやったことある！」「お家であやとり教えてもらったんよ。」など、ご家庭でもお正月あそびに触れ、楽しんでおられる様子が伝わってきました。

中でも子どもたちが夢中になったのが、「凧揚げ」です。星組さんがつくって、大庭で揚げていました。それを見て、「先生、凧つくりたい！」と〇くん。小さな凧と一緒につくりました。すると、星組さんと同じように、凧に絵を描き、うれしそうに持って外に出て行きました。それを見て自分も！と思った子どもたちが数人来て、同じようにつくり、外へ出て行きました。

それから数日後、風組で用意していた少し大きめの凧を出しました。すると、朝から子どもたちが次々と凧に絵を描き始め、出来上がるとすぐに大庭へ出て行きました。どの子どもたちも凧揚げをすることを楽しみにしていたのだなと感じました。最初は、紐を長くして走り、木の間を走り、友達にも木にもひっかかってもつれていました。「先生、ひっかかったー！」という声がたくさん聞こえてきて、保育参加に入ってきたお父さんやお母さんにとってもなっていました。しかし、毎日凧を持って外に出て、凧を揚げて遊んでいると、だんだんと子どもたちは広いところを走ったり、紐を短く持ったりして、子どもたちなりにどうすれば引っかからずに遊べるかを考えているようでした。また、小学校の運動場で思いっきり凧揚げをして帰ってきてからも、風から凧を持って外へ出ようとしたKくん。「風からバナナ鬼するのはどう？」と提案してみたのですが、「いい風が吹いているから。」と。本当に凧を揚げるには絶好の風が吹いていたのです。遊びの中で学ぶってこういうことだなと実感した凧揚げでした。

こちらがうらやましくなるくらい、子どもたちの考えは柔軟で、いろいろなことをスポンジの様に吸収し、それを使って遊びや生活に生かそうとしていく力が備わっているのだと日々実感しています。これから進級まで、子どもたちは、ぐんっと心も身体も成長します。その成長を精一杯後押しできるように、職員で力を合わせていきたいと思っています。（厚東）

昔ながらの遊びや行事を楽しんで…（星組）

星組では、凧あげ、コマ回し、竹馬、羽根つき、すごろく、かるたなど…

様々な正月遊びを楽しみました。竹馬やコマ回しなど、始めはなかなかうまくできないものもあります。今までは「できな～い。」とあきらめてしまうような声も聞かれましたが、今回は「できない！けどもう一回やってみる！」「こうするとうまくいくよ！」という声が聞こえました。

遊戯室では、コマ回しに挑戦する子どもたちが毎日集まっていました。コマをきれいに回すことのできるAくんの姿を見て、周りの子どもたちも「自分も！」とやる気になっていました。Bくんは「Aくんは風組の頃から何回もあきらめんでやりよったんやって。」と言いながら、同じように何度も挑戦していました。そんなBくんを見て、Aくんも一緒に応援したいという気持ちになったようです。「下に投げるんじゃなくて横からスーっと投げた方がいい。」とコツを教えるAくん。周りの友達にもたくさん励ましてもらいながら、繰り返し取り組むこと数日…。ついにBくんのコマが回りました！「先生！先生！Bくんのコマが回ったよ！！」とAくんは、自分のことのように喜びながら教えてくれました。AくんもBくんも周りの友達も、とても嬉しそうキラキラとした笑顔になっていました。あきらめずに挑戦し続けたこと、友達に励ましてもらったこと、友達と一緒に喜び合えたことなど、遊びの中で子どもたちは様々な体験を重ね、仲間関係を深めていくのでしょう。

また、1月の終わりにはもちつきがありました。雪の降る寒い朝でしたが、子どもたちはウキウキ♪お父さんや名人がもちをつく姿を目の前で見て、「お～！」と感心する子どもたち。杵を動かすタイミングに合わせて「よいしょ！よいしょ！」と応援していました。次は子どもたちの出番です。星組は3人でタイミングを合わせないといけません。お父さん方に支えてもらいながら、周りの友達の「1、2、3」という掛け声に合わせてもちをついていきました。途中で子どもたちの掛け声が小さくなると、やっぱりタイミングがそろわずうまくつけません。「みんなの力が必要みたいだよ！」と伝えると段々声も大きくなってきました。お父さんの力と子どもたちの力が一つになり、もちもちのおもちができあがりました！早速、子どもたちは自分達でついたおもちを食べて、「おいしーい！」「またおもちついてみたいな～。」と嬉しそうに話をしていました。お父さんや友達と一緒に力を合わせてついたおもちも、特別においしかったようで、たくさんおかわりして喜んでいました。



正月遊びやもちつきなど、昔ながらの遊びや行事に触れてたくさん楽しむことができました。もちつきや保育参加の中で、お家の方々と一緒に楽しんだり認めてもらったりしたことが、子どもたちの自信や満足感につながっているようです。たくさんのご協力ありがとうございました！（高橋）

さくらんぼを編集しながら、子どもたちは幼稚園での生活を思う存分楽しんでいるのだなとうれしくなりました。3学期も中盤です。体調を崩しやすい時期ですが、子どもたちも、保護者の方も、もちろん私達も、元気に過ごせるように、手洗いうがいをし、食事と睡眠をしっかりととりましょう！

3学期もどうぞよろしくお願ひいたします。（編集：厚東）。🍡🍡🍡🍡